

5. 調査結果及び考察

1) 現況調査

① 調査海域の地形、底質

渡嘉志久地先一帯は慶良間海峡に面し、対岸には座間味、阿嘉島が存在するために、台風による影響が比較的少ない地域となっている。しかしながら、渡嘉志久湾は北西に向かって開口しており、サンゴ礁の形成には冬季の北よりの季節風の影響がみられる。

渡嘉志久湾周辺部の礁はよく発達し、典型的な縁溝線脚系を形成している。また、湾内は波浪から遮断されており、比較的浅い砂礫底が湾奥部に広がっている。湾口部は砂質底で、水深は20~25mとなっており、慶良間海峡中心部に向かう漸深帯となっている(図-6)。

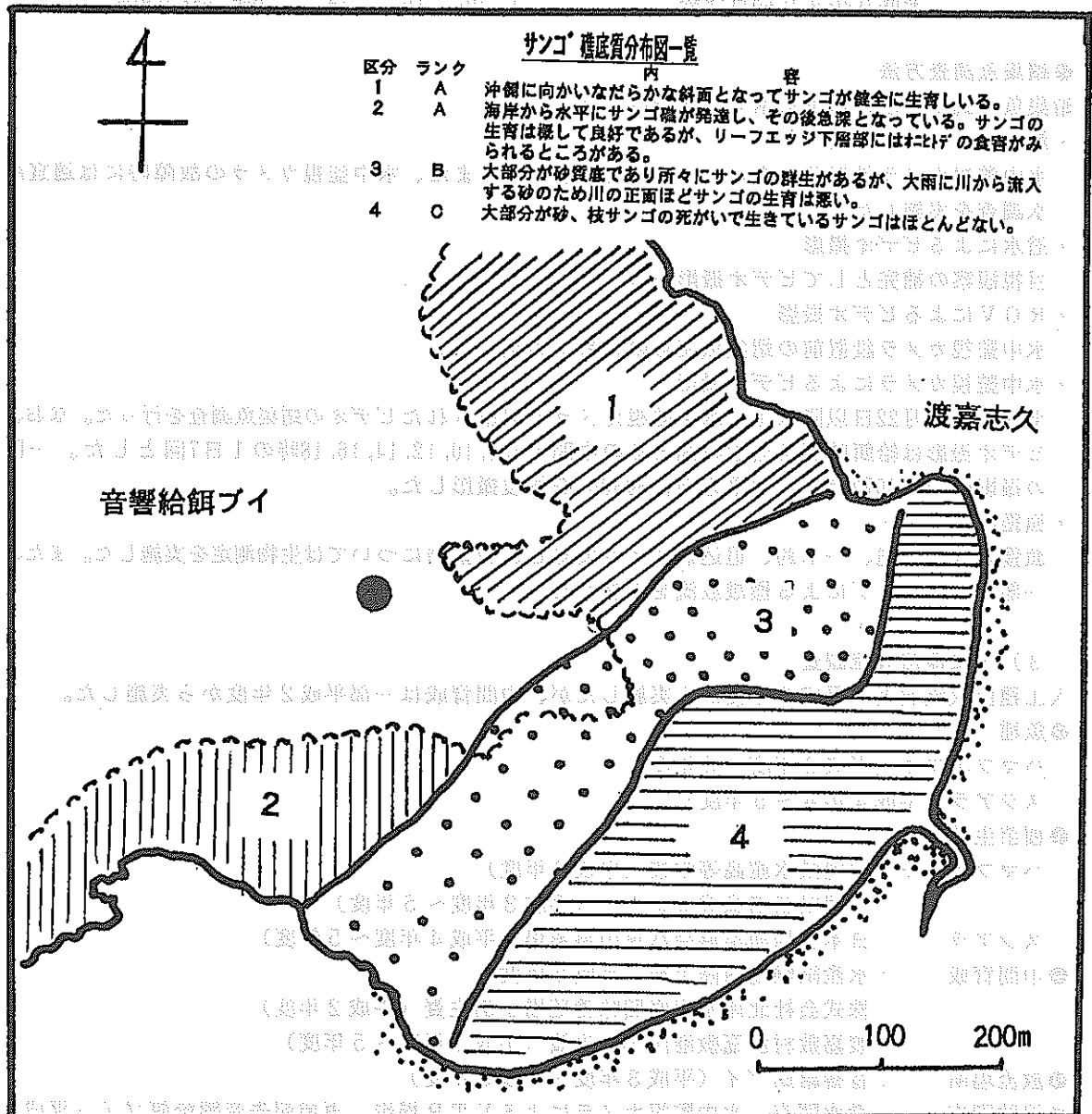


図-6 渡嘉志久湾の地形底質図